

令和2年度 6年生を送る会 校長あいさつ

いよいよ「6年生を送る会」が始まります。

3学期の初めに児童の皆さんに「ありがとう」の反対言葉のお話をしましたが、覚えて
いるでしょうか。

そうですね。ありがとうの反対の意味を持つ言葉は「当たり前」でした。

生活の中にある「当たり前」に気づき、そのことへの感謝の気持ちを持てるといいです
ねとお話しました。

さて、ここで問題です。

今日は「6年生を送る会」ですが、実は「6年生に〇〇を贈る会」とも言えます。何を
贈りますか？「感謝」「ありがとうの気持ち」「応援する気持ち」・いろいろなあ
るで
しょう。

ここ2週間、私が、教室をまわっていると「ありがとう」をはじめとして6年生への
気持ちがいろいろなところに溢れてきているのを感じていました。発表の練習、プレゼ
ント、飾りつけ・・・いろいろなものからも皆さんの気持ちが伝わってきます。

「ありがとう」という気持ち、「がんばってください」という気持ちは目に見えるも
のではありません。だからこそ、在校生の皆さんは6年生への気持ちを何とか目に見
える形で表そうと考え、工夫し、準備してきたのだと思います。相手を思い、その人のた
めに何かをしたいと考えることから「ありがとう」は始まるのだと感じます。在校生の
皆さんは、6年生のことを思って準備してきたことを今日、精一杯伝えてください。楽
しみにしています。特に5年生は、最初の大仕事。そのがんばりを期待しています。

そして、6年生の皆さん。1年生から5年生までの気持ちをしっかり感じて、受け止
めてください。それをこれから始まる新しい生活へのエネルギーに変えてほしいと思
います。そして、会の最後では「マーチングバンド引継ぎ式」が待っています。大切に受
け継いだ楽器に想いを込めて、後輩たちにバトンタッチをしてください。

最後に、保護者の皆様。本日はご多忙の中、来てくださりありがとうございます。た
くさんの行事がなくなった1年でしたが、こうして6年生を送る会を開催することが
できます。本来ですと、マスクを外し伸び伸びと発表する姿をご覧いただきかったの
ですが、現在の状況からやむなくマスク等をしたまま発表する形、引継ぎ式はビデオ視
聴という形にしています。形は十分ではありませんが、「子どもたちのありがとうの気
持ち」に触れていただき、大きな拍手で華を添えていただければ幸いです。本日はよろ
しくお願いいたします。(令和3年3月5日)